

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24032報)

2022年 9月27日 9時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日9時22分頃、1号機廃棄物処理建屋 R w中央操作室脇配管付近から水が流れ落ちていることを協力作業員が発見しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 9時22分頃 ・発生場所(設備名称) 1号機廃棄物処理建屋 R w中央操作室脇配管付近 ・漏えい箇所 確認中 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 確認中 ・拡大防止処置 確認中 ・漏えい継続の有無 確認中 ・外部への影響 確認中 <p>なお、1号機原子炉注水設備および使用済燃料プール冷却設備のパラメータに異常がないことを確認</p> <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有無 <input checked="" type="radio"/> 無し</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24033報)

2022年 9月27日 11時36分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第2.5条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第2.5条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第2.1条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第24032報でお知らせした、1号機廃棄物処理建屋1階 R w中央操作室脇配管付近から水が流れ落ちている事象について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>当社社員が現場状況を確認したところ、1号機廃棄物処理建屋1階天井から滴下していることを確認したことから、 ガレキ撤去作業により開放された1号機廃棄物処理建屋2階の床面に溜まった雨水が天井を通して建屋1階に流入したものと推定しました。</p> <p>また、滴下した水をスミア測定した結果、バックグラウンド同等(330cpm)であったことから雨水と判断しました。</p> <p>【公表区分: その他】 雨水であると判断したことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24034報)

2022年 9月27日 15時45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(2.4時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [9月27日11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 9月26日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 9月26日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 9月26日] ・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 9月9日~9月15日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 9月22日、9月26日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 9月13日、9月26日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、9月28日に排水を実施します 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 9月23日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被災した患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年9月27日 11:00現在

(留意事項)

各計測値については、加算その他の修正係数を施して、通常の運用用観測条件を
 想定しているものもあり、正しく測定されていない可能性がある計測値を併記している。
 プラントの稼働状態に関する情報は、このように計測値の不確かさも考慮したうえで、復原
 の計測値から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して報告の上判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系： 2.4 m ³ /h CS系： 1.5 m ³ /h	給水系： 1.7 m ³ /h CS系： 0.0 m ³ /h	給水系： 0.0 m ³ /h CS系： 3.2 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)： 27.5 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)： 26.3 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)： 27.0 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)： 35.5 °C RPV温度 (TE-2-3-69R)： 38.5 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)： 31.9 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)： 31.8 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)： 27.0 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)： 26.9 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)： 36.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)： 35.7 °C	PCV温度 (TE-16-002)： 29.9 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)： 31.6 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.14 kPa g	3.74 kPa g	0.44 kPa g	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A)： - Nm ³ /h (RVH-B)： 15.25 Nm ³ /h (JP-A)： 14.64 Nm ³ /h (JP-B)： - Nm ³ /h PCV： - Nm ³ /h ※4	RPV-A： 6.46 Nm ³ /h RPV-B： 6.37 Nm ³ /h PCV： - Nm ³ /h ※4	RPV-A： 8.11 Nm ³ /h RPV-B： 7.98 Nm ³ /h PCV： - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.3 m ³ /h	16.16 Nm ³ /h	20.25 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系： 0.00 vol% B系： 0.00 vol%	A系： 0.06 vol% B系： 0.05 vol%	A系： 0.09 vol% B系： 0.09 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系： 指示値 9.38E-04 検出限界値 4.25E-04 B系： 指示値 1.09E-03 検出限界値 3.54E-04	A系： 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 B系： 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01	A系： 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系： 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	29.9 °C	29.2 °C	※5	
FPC 液レベル 水位	3.01 m	3.20 m	m ※6	66.8 X100mm

【計測値に関する情報】
 ※1：指示値がマイナスの場合は0.00%と表記する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測値によりマイナス表示される場合があるため)
 ※2：指示値が格納容器ガス管理システム(Xe135)の放射能濃度を指す。
 ※3：格納容器内窒素封入流量の計測値を指す。
 ※4：格納容器内窒素封入流量の計測値を指す。
 ※5：全格納容器の平均温度を指す。
 ※6：非露点計の測定値を指す。

2022年9月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/09/26 08:05	< 6.7E+00	< 6.5E+00	1.3E+02
2号機サブドレン	2022/09/26 07:05	< 1.3E+01	2.7E+01	1.3E+03
3号機サブドレン	2022/09/26 07:58	< 3.9E+00	< 3.7E+00	< 4.7E+00
4号機サブドレン	2022/09/26 07:12	< 4.5E+00	< 4.2E+00	< 3.9E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
構内深井戸	—	—	—	—

・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

2022年9月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/09/26 07:12	< 4.5E+00	< 4.2E+00	< 3.9E+00
プロセス主建屋北東	2022/09/26 07:47	< 5.4E+00	< 5.4E+00	< 4.6E+00
プロセス主建屋南東	2022/09/26 07:42	< 4.6E+00	< 5.2E+00	< 4.9E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/09/26 07:27	< 4.5E+00	< 5.0E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南西	2022/09/26 07:37	< 4.1E+00	< 4.1E+00	1.0E+01
焼却工作建屋西側	2022/09/26 07:22	< 5.6E+00	< 4.8E+00	8.0E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/09/26 07:17	< 5.5E+00	< 4.5E+00	< 3.5E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/09/26 07:32	< 3.9E+00	< 4.3E+00	< 3.9E+00

・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{O.E}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2022年9月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/09/26 07:35	6.8E+00	< 6.8E-01	3.5E+00
物揚場排水路	2022/09/26 07:30	5.5E+00	< 6.7E-01	2.2E+00
K排水路	2022/09/26 06:00	2.2E+01	< 6.5E-01	1.7E+01
BC排水路	2022/09/26 06:00	4.2E+01	< 6.1E-01	8.5E-01
D排水路	2022/09/26 06:30	< 3.3E+00	< 7.5E-01	< 5.3E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不番号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は10 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2022年9月27日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m ³ /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/09/09 07:35	0.5	0.002	< 2.7E+00	—	< 7.0E-01	2.4E+00
	2022/09/10 07:41	0.0	0.002	4.4E+00	—	< 6.4E-01	3.7E+00
	2022/09/11 07:20	0.0	0.001	5.1E+00	—	< 6.7E-01	3.6E+00
	2022/09/12 07:36	0.0	0.001	5.5E+00	—	< 4.7E-01	3.9E+00
	2022/09/13 07:30	0.0	0.001	4.8E+00	—	< 4.4E-01	3.5E+00
	2022/09/14 07:30	0.0	0.002	4.3E+00	< 7.2E+00	< 7.0E-01	2.7E+00
	2022/09/15 07:46	0.0	0.001	7.2E+00	—	< 5.9E-01	4.3E+00
物置場排水路	2022/09/09 07:40	0.5	0.007	3.1E+00	—	< 5.5E-01	3.0E+00
	2022/09/10 07:46	0.0	0.007	< 3.3E+00	—	< 5.2E-01	1.1E+00
	2022/09/11 07:25	0.0	0.006	< 3.8E+00	—	< 6.1E-01	1.5E+00
	2022/09/12 07:41	0.0	0.006	< 3.0E+00	—	< 7.1E-01	1.5E+00
	2022/09/13 07:35	0.0	0.006	< 3.7E+00	—	< 6.6E-01	1.0E+00
	2022/09/14 07:35	0.0	0.006	< 3.3E+00	8.1E+00	< 3.6E-01	1.3E+00
	2022/09/15 07:51	0.0	0.006	< 3.8E+00	—	< 4.9E-01	1.0E+00
K排水路	2022/09/09 06:00	0.5	0.014	1.0E+01	—	< 4.4E-01	8.2E+00
	2022/09/10 06:00	0.0	0.010	8.0E+00	—	< 7.8E-01	6.0E+00
	2022/09/11 06:00	0.0	0.009	7.4E+00	—	< 4.5E-01	4.9E+00
	2022/09/12 06:00	0.0	0.009	8.9E+00	—	< 5.5E-01	4.9E+00
	2022/09/13 06:00	0.0	0.009	7.1E+00	—	< 6.3E-01	4.9E+00
	2022/09/14 06:00	0.0	0.010	6.4E+00	1.1E+02	< 7.0E-01	4.7E+00
	2022/09/15 06:00	0.0	0.010	7.2E+00	—	< 8.0E-01	4.1E+00
BC排水路	2022/09/09 06:00	0.5	0.006	< 2.7E+00	—	< 7.0E-01	< 6.6E-01
	2022/09/10 06:00	0.0	0.003	< 3.3E+00	—	< 7.2E-01	< 7.3E-01
	2022/09/11 06:00	0.0	0.003	< 3.8E+00	—	< 6.8E-01	< 7.3E-01
	2022/09/12 06:00	0.0	0.003	< 3.0E+00	—	< 6.3E-01	< 7.1E-01
	2022/09/13 06:00	0.0	0.002	< 3.7E+00	—	< 4.3E-01	< 4.8E-01
	2022/09/14 06:00	0.0	0.002	< 3.3E+00	< 7.2E+00	< 6.6E-01	< 6.8E-01
	2022/09/15 06:00	0.0	0.002	< 3.8E+00	—	< 6.6E-01	< 6.5E-01
D排水路	2022/09/09 06:30	0.5	0.012	< 2.7E+00	—	< 4.3E-01	< 5.2E-01
	2022/09/10 08:00	0.0	0.020	< 3.3E+00	—	< 4.8E-01	< 6.9E-01
	2022/09/11 07:15	0.0	0.020	< 3.8E+00	—	< 6.6E-01	< 6.4E-01
	2022/09/12 07:07	0.0	0.020	< 2.8E+00	—	< 5.1E-01	< 6.8E-01
	2022/09/13 06:30	0.0	0.016	< 2.7E+00	—	< 9.6E-01	< 6.7E-01
	2022/09/14 06:20	0.0	0.022	< 3.1E+00	< 7.2E+00	< 4.8E-01	< 5.1E-01
	2022/09/15 06:35	0.0	0.021	< 3.8E+00	—	< 6.1E-01	< 7.2E-01
5,6号機排水路	2022/09/14 08:05	0.0	0.000	< 3.3E+00	< 7.2E+00	< 4.9E-01	9.8E-01

核種名の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不符号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

流量以外は既にお知らせ済み。

2022年9月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他観測核種					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)			
No.0-1	2022/09/26 07:45	4.6E+01	< 1.6E+00	< 2.9E+00	< 1.7E+01	< 4.5E+00	1.2E+01	< 1.6E+00	—	
No.0-1-2	2022/09/26 07:48	1.0E+01	< 2.4E-01	< 2.4E-01	< 2.3E+00	< 8.2E-01	3.6E+00	< 2.6E-01	—	
No.0-2	2022/09/26 08:03	3.6E+01	< 2.3E-01	< 2.9E-01	< 2.3E+00	< 9.2E-01	1.7E+01	3.6E-01	—	
No.0-3-1	2022/09/26 07:53	1.8E+01	< 3.0E-01	< 4.4E-01	< 3.5E+00	< 1.4E+00	6.6E+00	< 3.3E-01	—	
No.0-3-2	2022/09/26 07:58	2.0E+01	< 3.7E-01	< 4.2E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	7.6E+00	< 5.4E-01	—	
No.0-4	2022/09/26 07:55	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 4.0E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	9.0E-01	< 4.0E-01	—	
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-9 ^{*1}	2022/09/26 07:40	4.6E+01	—	—	—	—	—	—	7.9E+01	
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・検測面の半減期: Mn-54(約110日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.E+Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1 No.1-9は、採取器による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値としての値に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)			
1,2号観測孔ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	2022/09/26 07:20	2.9E+02	< 2.1E-01	< 2.8E-01	< 2.7E+00	< 1.0E+00	4.2E-01	2.0E+01	—	—	
No.2-2	2022/09/26 07:05	2.4E+02	< 1.8E+00	< 2.6E+00	< 2.1E+01	< 7.8E+00	2.2E+00	8.2E+01	—	—	
No.2-3	2022/09/26 07:00	3.0E+04	< 3.9E-01	< 3.5E-01	< 4.3E+00	< 1.6E+00	< 4.3E-01	3.4E+00	—	—	
No.2-5 *2	2022/09/26 06:55	3.0E+05	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-7	2022/09/26 07:25	3.4E+02	< 2.1E-01	< 2.5E-01	< 2.8E+00	< 7.3E-01	< 2.3E-01	2.1E+00	—	5.9E+02	
No.2-8	2022/09/26 07:15	3.9E+03	< 3.4E-01	< 4.5E-01	< 3.6E+00	< 1.7E+00	8.9E-01	2.9E+01	—	—	
2,3号観測孔 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3,4号観測孔 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	

* 検出限の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約9年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

* 不番号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

* 測定対象物質および採取中の項目は「-」と記す。

* O.C.F.+Oとは、O.C×10⁴であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と表す。

*2 No.2-5、No.3-5は、採取器による誤差であるため、測定は実施せず、全βは参考値としての数値に測定。

9/13

2022年9月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目											
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/09/22 08:20	2.3E+01	8.2E+03	< 3.4E-01	< 3.5E-01	< 3.4E+00	< 1.1E+00	< 4.0E-01	2.2E+00	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限界の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約33年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および検出中の項目は「-」と記す。

・0.0E±0.0 は、 0.0×10^0 であることを意味する。

・(例) 3.1E+01 は 3.1×10^1 で 31、3.1E+00 は 3.1×10^0 で 3.1、3.1E-01 は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読む。

・H-3 以外は総称に記述可也。

※ 1 No.1-9 は、取水層による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値としての測定に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)		
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他放射線				
1,2号線ワエルポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	2022/09/22 08:00	2.1E+02	2.2E+02	< 3.4E-01	< 3.7E-01	< 3.2E+00	< 1.3E+00	< 5.3E-01	9.5E+00	—	—	—	—	—
No.2-2	2022/09/22 07:50	2.4E+02	2.4E+02	< 1.5E+00	< 2.6E+00	< 2.0E+01	< 9.3E+00	< 2.6E+00	9.8E+01	—	—	—	—	—
No.2-3	2022/09/22 07:55	4.1E+04	4.6E+03	< 3.7E-01	< 3.7E-01	< 4.8E+00	< 2.0E+00	5.9E-01	3.5E+01	—	—	—	—	—
No.2-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-8	2022/09/22 08:05	4.5E+03	4.1E+02	< 3.4E-01	< 2.8E-01	< 3.6E+00	< 1.3E+00	< 4.0E-01	2.1E+00	—	—	—	—	—
2,3号機改修ワエル 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	2022/09/22 07:00	2.4E+02	2.6E+03	< 3.2E-01	< 4.6E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 3.9E-01	5.9E+00	—	—	—	—	—
No.3-2	2022/09/22 07:40	5.6E+02	7.8E+02	< 1.8E+00	< 2.6E+00	< 1.8E+01	< 5.7E+00	< 1.8E+00	3.6E+00	—	—	—	—	—
No.3-3	2022/09/22 07:45	1.5E+03	2.0E+03	< 4.3E+00	< 5.9E+00	< 4.5E+01	< 1.6E+01	< 5.5E+00	1.0E+02	—	—	—	—	—
No.3-4	2022/09/22 07:15	< 1.1E+01	2.5E+02	< 8.6E-01	< 1.4E+00	< 1.0E+01	< 2.9E+00	< 9.1E-01	7.8E+00	—	—	—	—	—
No.3-5 ※3	2022/09/22 07:20	2.3E+02	< 1.2E+02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4E+02
3,4号機改修ワエル 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・検測箇の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小数の1は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.C.E.H.Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

・H-3以外は低線放射線計で測定。

※2、No.2-5、No.3-5は、採水器による採取であるため、Y測定は実施せず。全Yは参考値としての数値に測定。

2022年9月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/09/26 08:00	1.1E+01	< 5.8E-01	< 8.5E-01
1F 6号機取水口前	2022/09/26 07:43	< 1.2E+01	< 2.9E-01	3.5E-01
1F 物揚場前	2022/09/26 07:25	< 1.2E+01	< 3.1E-01	3.9E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/09/26 07:20	< 1.2E+01	< 3.0E-01	3.1E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/09/26 07:15	4.2E+01	7.7E-01	3.5E+01
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/09/26 09:15	9.6E+00	< 5.5E-01	< 7.8E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/09/26 06:40	< 1.4E+01	< 3.1E-01	7.0E-01
1F 港湾中央	2022/09/26 06:34	< 1.4E+01	< 3.4E-01	1.4E+00
1F 港湾内東側	2022/09/26 06:36	< 1.4E+01	< 3.1E-01	4.9E-01
1F 港湾内西側	2022/09/26 06:32	1.4E+01	< 3.5E-01	< 3.7E-01
1F 港湾内北側	2022/09/26 06:30	< 1.4E+01	< 3.1E-01	4.8E-01
1F 港湾内南側	2022/09/26 06:38	< 1.4E+01	< 3.2E-01	6.5E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/09/26 07:12	< 1.3E+01	< 2.6E-01	< 3.3E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/09/26 07:17	< 1.3E+01	< 2.5E-01	< 3.5E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/09/26 08:05	< 1.3E+01	< 2.6E-01	< 2.3E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/09/26 07:59	1.5E+01	< 2.5E-01	< 3.2E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/09/26 07:54	1.6E+01	< 2.7E-01	< 2.8E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・○.○E±○とは、○.○×10^{±○}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年9月27日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機取水口北側 (T-1)	2022/09/13 08:00	—	—	< 7.2E-01	< 7.9E-01
1F 6号機取水口前	2022/09/13 07:50	< 1.3E+01	—	< 2.9E-01	< 3.4E-01
1F 物揚場前	2022/09/13 07:25	< 1.3E+01	—	< 3.0E-01	< 3.3E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/09/13 07:20	< 1.3E+01	—	< 3.1E-01	1.4E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (源水壁前)	2022/09/13 07:15	1.4E+01	—	< 5.7E-01	6.6E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※ (注)	2022/09/13 07:55	1.2E+01	< 3.2E-01	< 6.8E-01	< 7.2E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/09/13 06:44	1.3E+01	—	< 2.5E-01	< 3.4E-01
1F 港湾中央	2022/09/13 06:40	< 1.3E+01	—	< 2.6E-01	< 3.1E-01
1F 港湾内東側	2022/09/13 06:42	< 1.4E+01	—	< 3.7E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内西側	2022/09/13 06:38	< 1.4E+01	—	< 3.0E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内北側	2022/09/13 06:36	< 1.4E+01	—	< 2.8E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内南側	2022/09/13 06:46	< 1.4E+01	—	< 2.1E-01	< 3.0E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
 - ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 - ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 - (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 - ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
 - ・H-3以外は既にお知らせ済み。
- ※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標
- ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>
 - (注) 地下水バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。
 - (2014年10月19日以降)

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

13
13

2022年9月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サンプルタンク)	E 2022/09/23 07:49	730	東京電力 東北核広環境保全(株)	< 2.0E+00	8.5E+02	< 7.3E-01	< 6.9E-01		検出なし
				< 3.4E-01	9.0E+02	< 5.6E-01	< 5.7E-01		検出なし
	運用目標			3.0E+00 (1.0E+00) *1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00		検出されないこと*2
	告示濃度限度*3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
	WHO飲料水水质ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10⁺⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24035報)

2022年 9月27日 16時23分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第24029報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時00分 ・排水終了 : 13時47分 ・排水量 : 564m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分: E】</p> <p>※添付の有り (無し)</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24036報)

2022年 9月27日 19時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日19時20分、2号機原子炉建屋排気設備ダストモニタ(A)において、放射線量が上昇したことを示す警報が発生し、19時21分クリアしました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警報発生箇所 2号機原子炉建屋排気設備ダストモニタ(A) ・当該放射線モニタ以外のダストモニタ指示値及びモニタリングポスト指示値、構内線量表示器については変動なし <p>今後、警報が発生した原因について調査します。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24037報)

2022年 9月27日 20時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第24036報でお知らせした、2号機原子炉建屋排気設備ダストモニタ(A)の高警報が19時20分に発生し、19時21分にクリアした事象についてその後の状況をお知らせします。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 20時22分に再度高警報が発生し、20時23分にクリアしました。 当該放射線モニタ以外のダストモニタ指示値及びモニタリングポスト指示値、構内線量表示器については変動が無いことを確認しております 2号機原子炉建屋燃料交換機操作室解体後の高線量ガレキを収納したコンテナを排気設備のダストモニタが設置されているエリア近傍で運搬を実施しておりました。 <p>以上のことから高線量ガレキ運搬作業による一時的な上昇によるものと判断しました。</p> <p>【公表区分: E続】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考: この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。